

島根県の経済動向

平成28年5月分

政策企画局統計調査課

—島根県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、
引き続き緩やかな持ち直しの動きとなっている—

生産活動は振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は緩やかな改善の動きが続いている。個人消費は持ち直しの動きがみられる。投資動向は持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。

生産活動	➡	~持ち直しの動き~	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は110.0で前月比で6.3%低下した。前年比は3.4%と4か月連続で上回った。 生産活動は、振れを伴いつつ持ち直しの動きがみられる。
雇用情勢	➡	~緩やかな改善の動き~	雇用面は、有効求人倍率は1.47倍で前月を0.01ポイント上回り、新規求人件数は16.3%と11か月連続で前年を上回った。所得面は、現金給与総額は2.0%と6か月連続で、きまって支給する給与は2.3%と5か月連続で前年を上回った。 雇用面は、緩やかな改善の動きが続き、所得面は、持ち直しの動きがみられる。
個人消費	➡	~持ち直しの動き~	百貨店・スーパー販売額は1.8%と4か月ぶりに前年を上回った。ホームセンター販売額は▲1.8%と5か月ぶりに、家電大型専門店販売額は▲2.8%と2か月ぶりに前年を下回った。新車登録台数は9.7%と2か月連続で前年を上回った。 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
投資動向	➡	~持ち直しに弱い動き~	建築着工床面積（非居住用）は61.5%と5か月ぶりに前年を上回った。公共工事請負金額は11.6%と、新設住宅着工戸数は81.4%と3か月連続で前年を上回った。 投資動向は、持ち直しているが、このところ弱い動きが続いている。
企業倒産	➡	~倒産件数3件~	企業倒産件数は3件。うち、建設業は1件、小売業は2件。
金融情勢	➡	~貸出金残高は対前年4.4%増~	銀行預金残高は95か月連続で前年を上回った。 銀行貸出金残高は69か月連続で前年を上回った。
物価	➡	~対前年0.5%下落~	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は102.8となり、前年比は0.5%の下落となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数(CI) (平成28年8月2日公表)		CI先行指数は63.8となり、3か月連続の上昇となった。 CI一致指数は131.5となり、3か月ぶりの上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 (平成28年6月13日公表)		財務省松江財務事務所が公表した景況判断BSIは、現状（28年4～6月期）の景況判断BSIは、▲20.2%ポイントと「下降」超幅が拡大している。 28年度の設備投資計画は、前年度比12.0%の増加見通しとなっている。 (製造業 20.6%、非製造業 ▲16.9%)

経済指標		前年同月比(%)						ただし*は除く。
		12月	1月	2月	3月	4月	5月	
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	108.8	116.8	115.6	117.0	117.4	110.0	
	〃（原指数）	▲1.8	▲4.1	10.1	8.5	0.3	3.4	
	大口電力需要実績	0.4	2.4	7.0	3.0	—	—	
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	1.33	1.38	1.42	1.43	1.46	1.47	
	新規求人件数	9.5	19.0	23.6	11.6	11.9	16.3	
	常用労働者数	1.7	0.5	0.0	0.1	▲0.1	▲0.1	
	現金給与総額	1.8	2.6	2.6	2.7	2.0	2.0	
	きまって支給する給与	▲0.9	1.0	2.8	3.4	1.7	2.3	
	所定外労働時間（製造業）	▲5.8	▲6.9	▲1.7	▲2.3	▲6.8	▲7.5	
個人消費	百貨店・スーパー販売額	▲2.8	0.4	▲4.3	▲4.6	▲1.9	1.8	
	ホームセンター販売額	▲6.4	7.8	1.6	2.3	10.7	▲1.8	
	家電大型専門店販売額	▲3.4	3.5	▲3.9	▲3.3	4.3	▲2.8	
	乗用車新車登録台数	▲25.2	▲4.6	▲6.8	▲14.1	4.2	9.7	
	出雲空港利用者数	▲4.1	2.1	9.4	4.9	10.4	1.9	
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	117.5	▲23.6	▲92.8	▲12.9	▲8.7	61.5	
	公共工事請負金額	▲6.9	▲26.2	▲5.7	4.2	16.6	11.6	
	新設住宅着工戸数	15.0	▲6.5	▲18.4	42.1	50.3	81.4	
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	3	4	4	5	4	3	
	* 負債総額（百万円）	133	102	106	388	1,062	350	
金融情勢	銀行預金残高	1.7	1.6	1.3	1.4	1.8	0.4	
	銀行貸出金残高	3.4	2.4	2.9	4.4	3.7	4.4	
物価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	103.0	102.5	102.3	102.6	102.7	102.8	
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	56.0	59.0	58.9	59.9	60.6	63.8	
	* 景気動向指数（CI一致指数）	120.8	132.0	136.5	130.1	129.2	131.5	

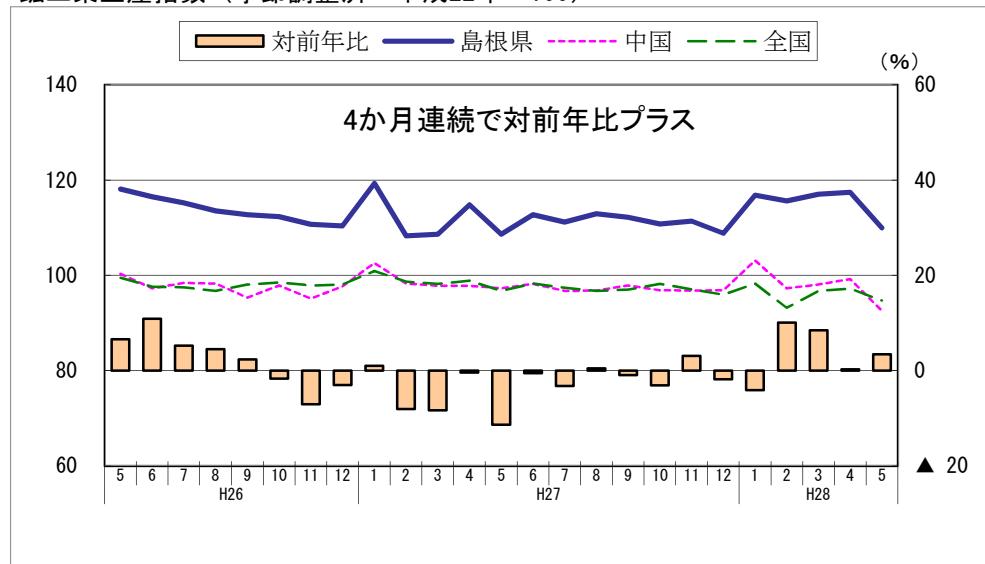
経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」平成28年7月25日											
	<p>景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。 設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 輸出は、おおむね横ばいとなっている。 生産は、横ばいとなっている。 企業収益は、高い水準にあるものの、改善に足踏みがみられる。企業の業況判断は、慎重さが増している。 雇用情勢は、改善している。 消費者物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。 <p>先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなからで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことと期待される。ただし、海外経済で弱さがみられており、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。また、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。さらに、平成28年（2016年）熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。</p>											
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成28年7月7日											
	<p>～持ち直しに足踏み感がみられる～</p> <p>中国地域の経済は、個人消費は持ち直し、雇用や設備投資に良い動きがみられるものの、生産は弱含み、景況感は低下しており、持ち直しに足踏み感がみられる。</p> <table> <tbody> <tr> <td>1. 生産動向…弱含み</td> <td>7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加</td> </tr> <tr> <td>2. 景況感…現状は低下、先行きは上昇</td> <td>8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇</td> </tr> <tr> <td>3. 産業用電力需要…増加</td> <td>9. 企業倒産…件数、負債額ともに増加</td> </tr> <tr> <td>4. 物価…消費者物価、企業物価ともに下落</td> <td>10. 貿易…輸出、輸入ともに減少</td> </tr> <tr> <td>5. 個人消費…持ち直している</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 設備投資…前年度を上回る見込み</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1. 生産動向…弱含み	7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加	2. 景況感…現状は低下、先行きは上昇	8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇	3. 産業用電力需要…増加	9. 企業倒産…件数、負債額ともに増加	4. 物価…消費者物価、企業物価ともに下落	10. 貿易…輸出、輸入ともに減少	5. 個人消費…持ち直している		6. 設備投資…前年度を上回る見込み
1. 生産動向…弱含み	7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は増加											
2. 景況感…現状は低下、先行きは上昇	8. 雇用動向…有効求人倍率は上昇											
3. 産業用電力需要…増加	9. 企業倒産…件数、負債額ともに増加											
4. 物価…消費者物価、企業物価ともに下落	10. 貿易…輸出、輸入ともに減少											
5. 個人消費…持ち直している												
6. 設備投資…前年度を上回る見込み												
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2016年7月1日											
	<p>山陰の景気は、基調としては緩やかな回復を続けている。最終需要をみると、個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するもとで、増加している。公共投資は、このところ持ち直してきている。こうした需要動向のもとで、生産は、振れを伴いつつも持ち直している。この間、企業の業況感をみると、金融市場の不安定化等を背景に、慎重な見方も窺える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費は、勢いを欠く面もみられるが、全体としては底堅く推移している。 住宅投資は、持ち直しの動きが続いている。 設備投資は、企業収益が高めの水準で推移するもとで、増加している。 公共投資は、このところ持ち直してきている。 生産は、振れを伴いつつも持ち直している。 雇用・所得環境は着実に改善している。 											
島 根 県	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2016年7月29日											
	<p>生産活動に足踏み感があり、設備投資の増勢も一様ではないものの、個人消費の一部では持ち直しの動きもみられ、雇用情勢が改善傾向にあるなど、基調としては緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共投資は、持ち直しの動きがみられる。 設備投資は、2016年度は、非製造業で前年度を下回るものの、製造業では前年度を上回り、全産業でも前年度を上回る計画（日銀短観6月の全産業設備投資額は、2015年度実績対前年度比18.6%増、2016年度計画同14.0%増）。 住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。 個人消費は、弱めながらも一部では持ち直しの動きもみられる。 生産は、業種間でバラツキがみられるものの、総じて横ばい圏内で推移している。 雇用情勢は、緩やかに改善している。 企業の業況判断は、足元、製造業は悪化したものの、非製造業では改善し、全産業でも改善となった（前回▲2→今回1）。先行きについては、製造業は改善を見込んでいるものの、非製造業では悪化を見込んでおり、全産業でも悪化の見通しどとっている（日銀短観6月調査）。 											
	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」平成28年4月27日（四半期ごとに公表）											
	<p>県内経済は、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人消費 緩やかな持ち直しの動きが続いている 生産活動 一部に弱さがみられるものの、引き続き持ち直している 雇用情勢 改善している 公共事業 前年度を下回っている 設備投資 27年度は増加見込み 企業収益 27年度は増益見込み 											

経済指標の推移

【 生産活動 】 ~持ち直しの動き ~

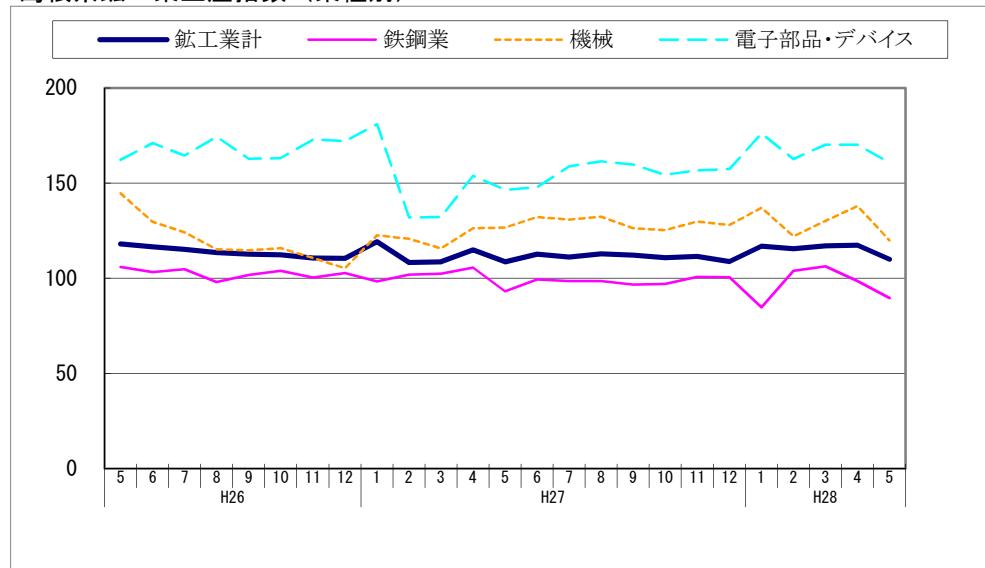
鉱工業生産指数 (季節調整済 平成22年=100)



(注) 対前年比は、島根県の原指数

(県統計調査課、経済産業省)

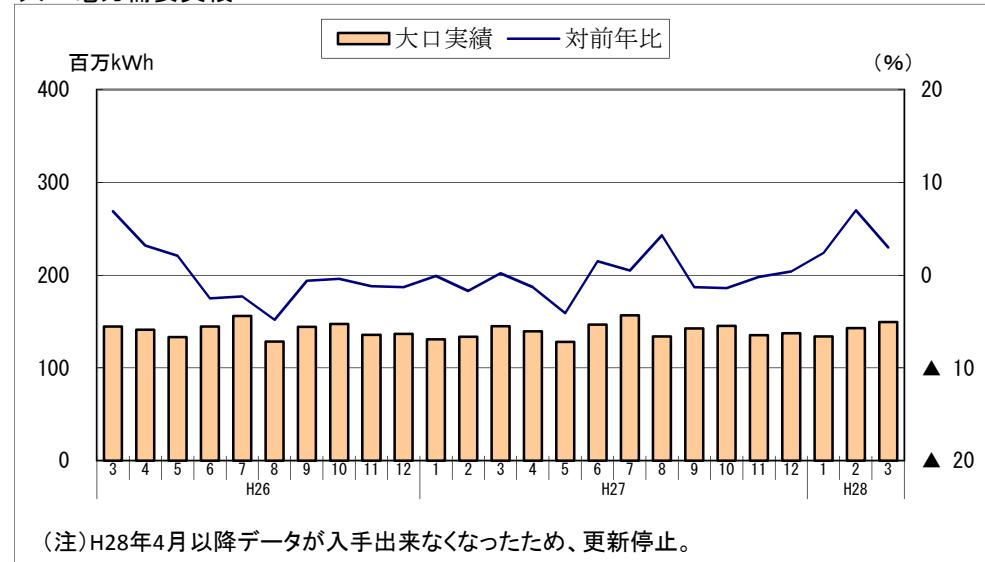
島根県鉱工業生産指数 (業種別)



(注) 機械とは、はん用・生産用・業務用機械工業である

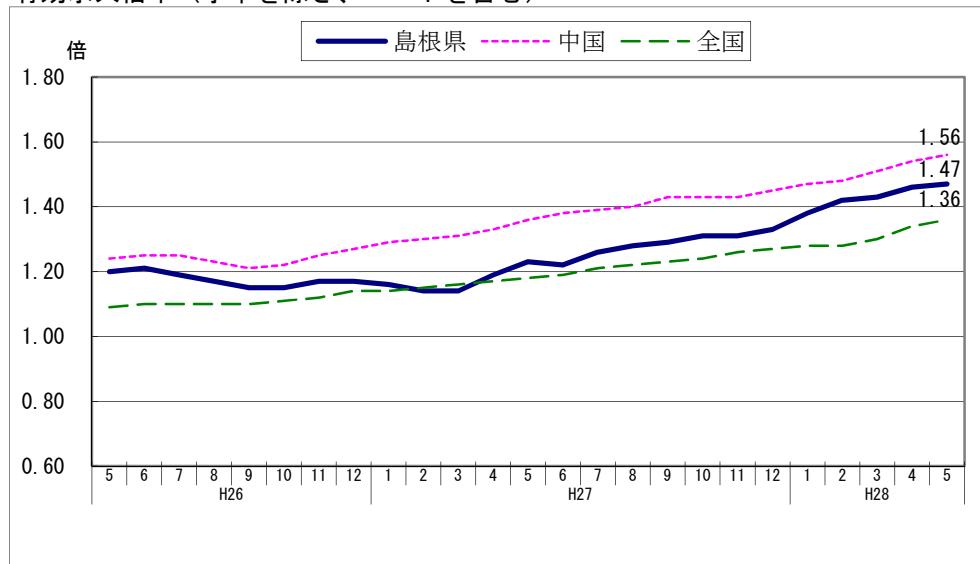
(県統計調査課)

大口電力需要実績



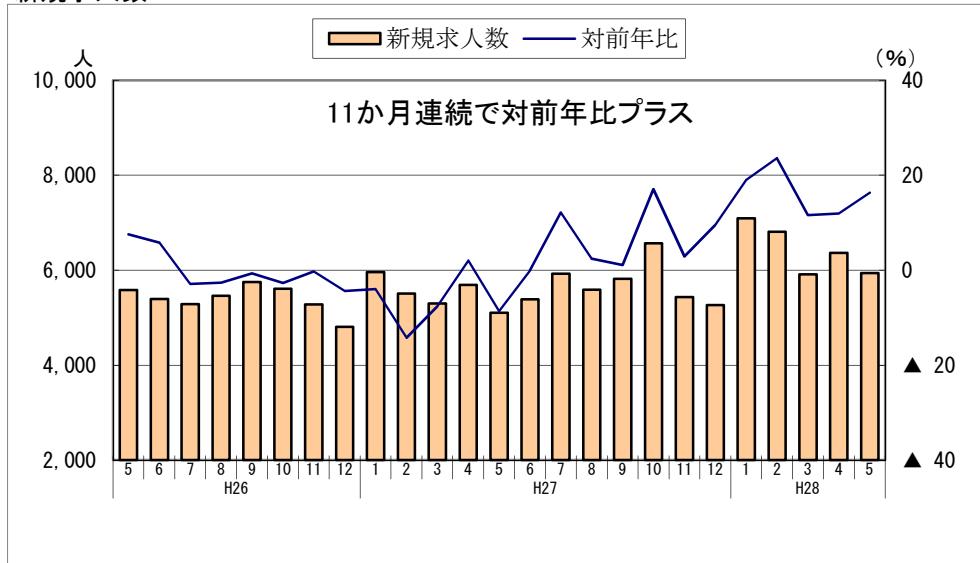
【雇用情勢】～緩やかな改善の動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



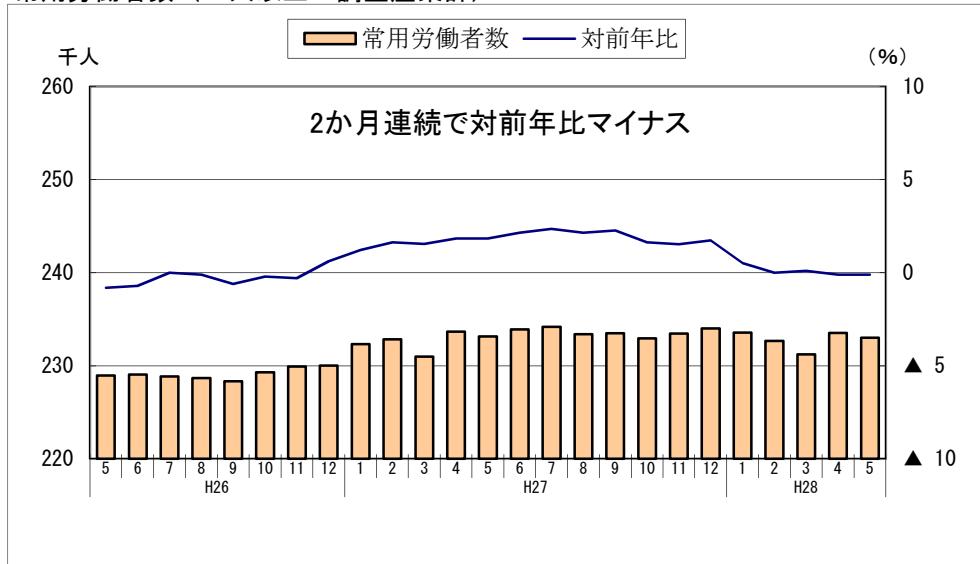
(厚生労働省)

新規求人件数



(島根労働局)

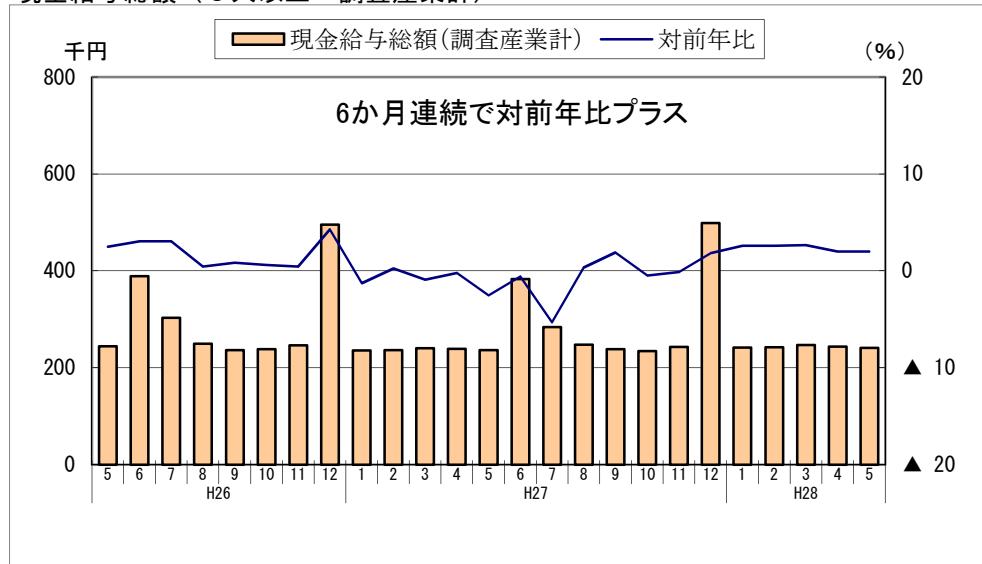
常用労働者数（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

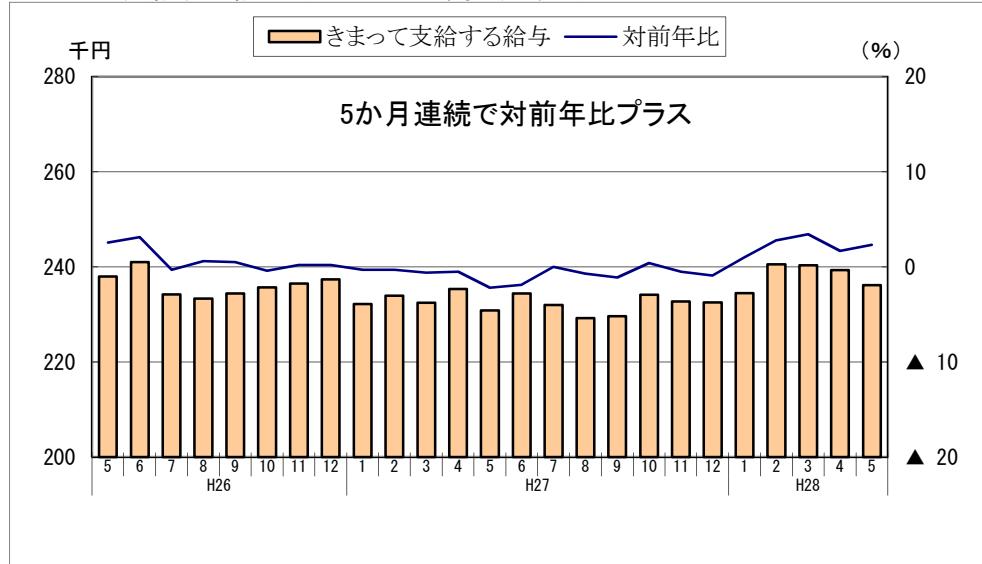
【雇用情勢】～緩やかな改善の動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



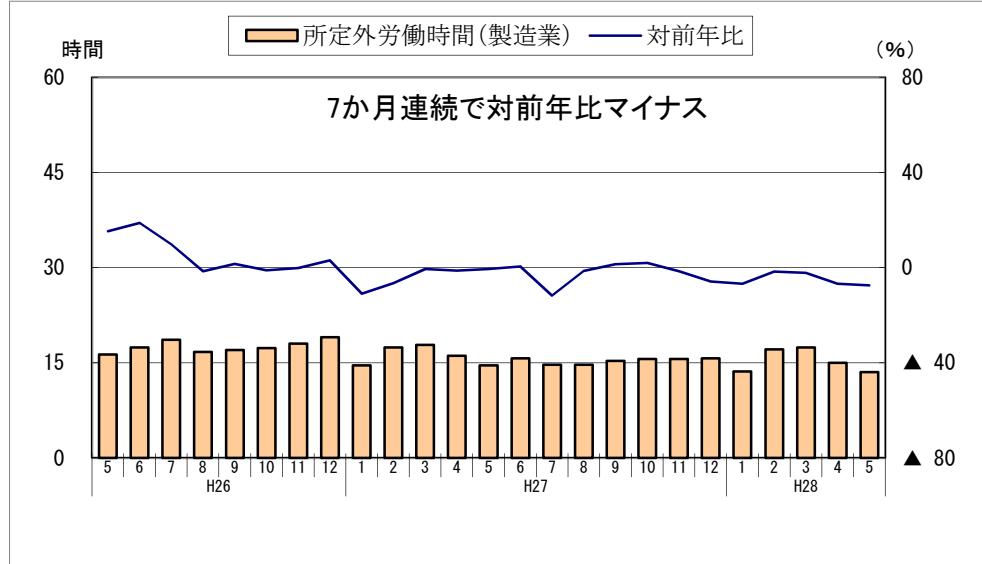
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

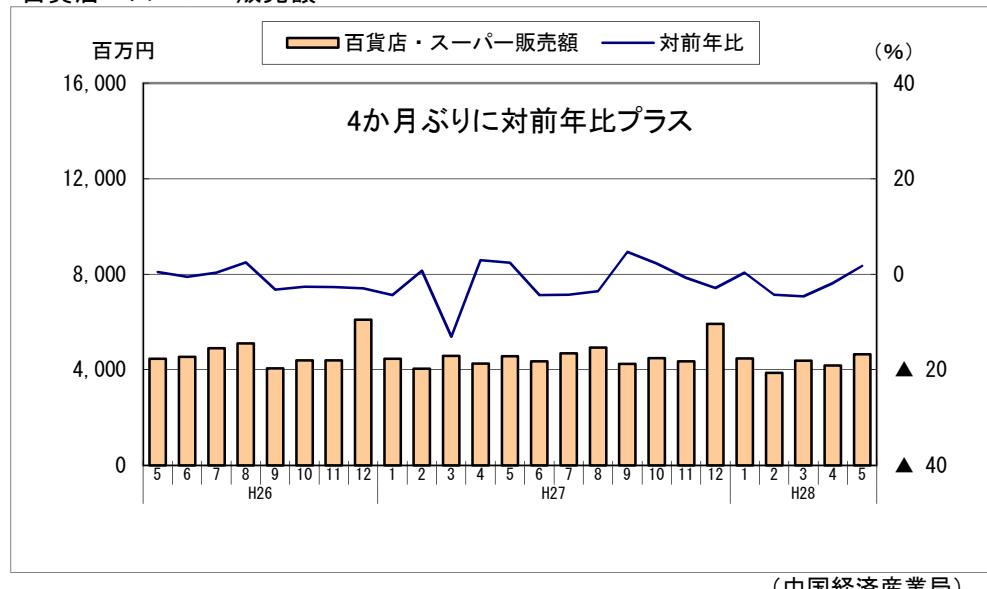
所定外労働時間（5人以上・製造業）



(県統計調査課)

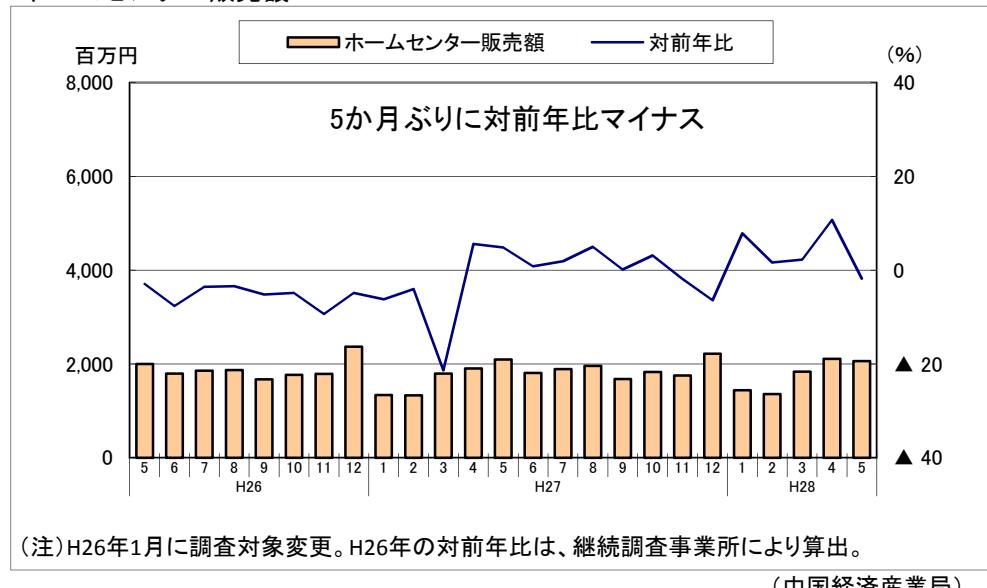
【個人消費】～持ち直しの動き～

百貨店・スーパー販売額



(中国経済産業局)

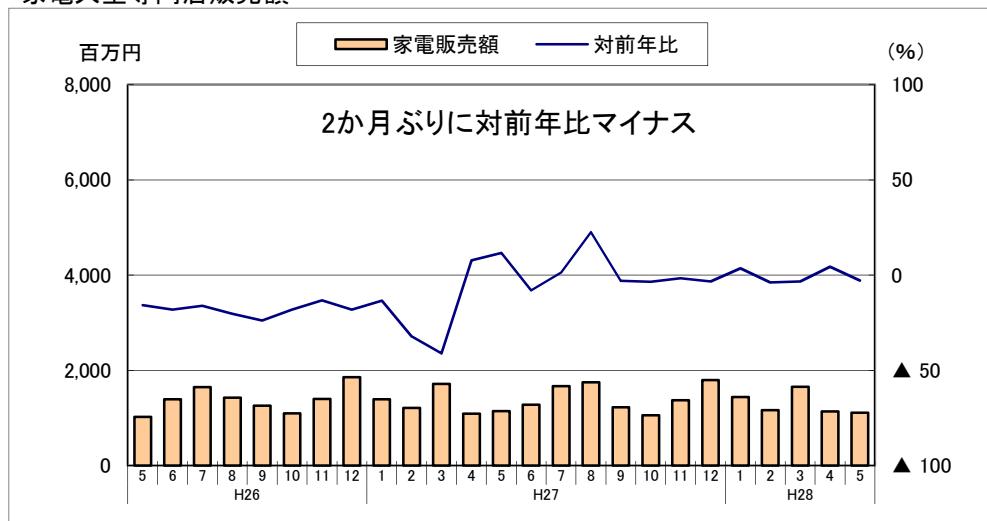
ホームセンター販売額



(注)H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

(中国経済産業局)

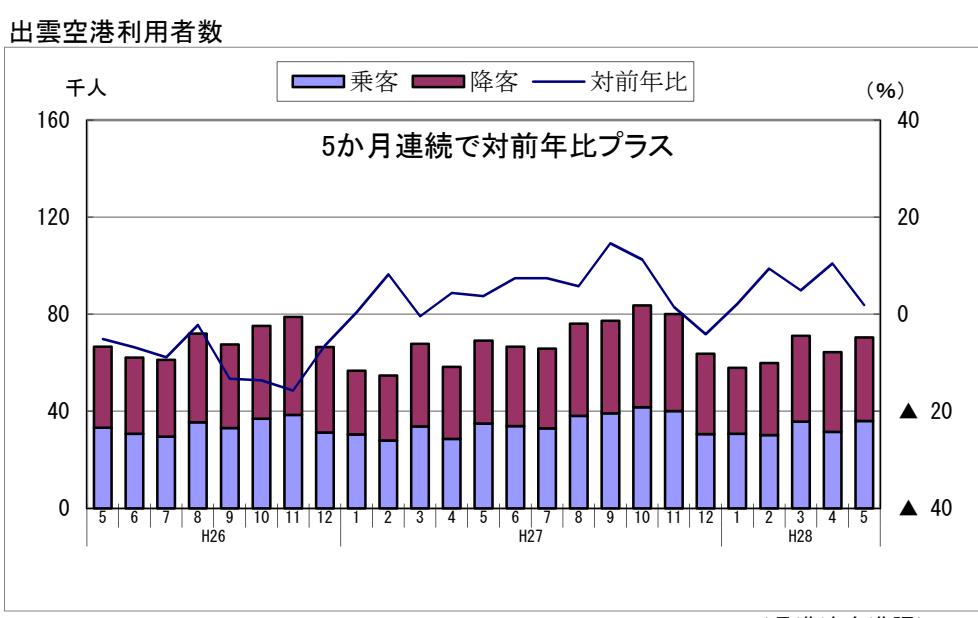
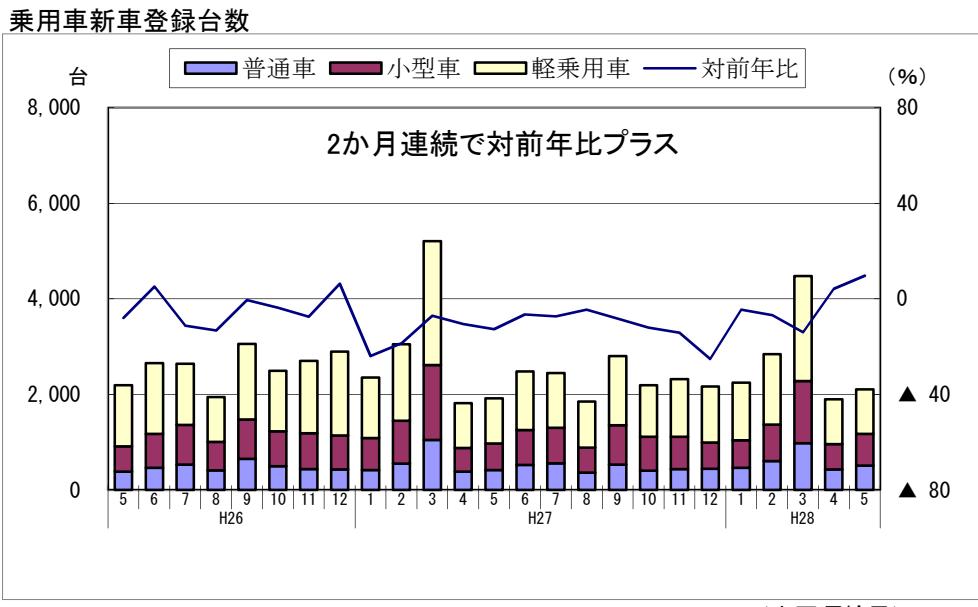
家電大型専門店販売額



(注)H26年1月に調査対象変更。H26年の対前年比は、継続調査事業所により算出。

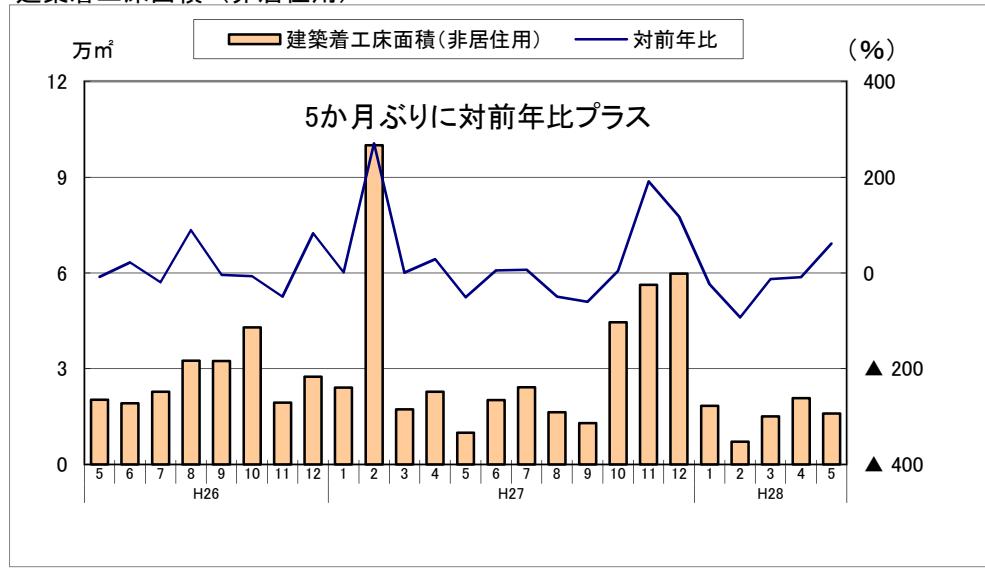
(中国経済産業局)

【個人消費】 ~持ち直しの動き~



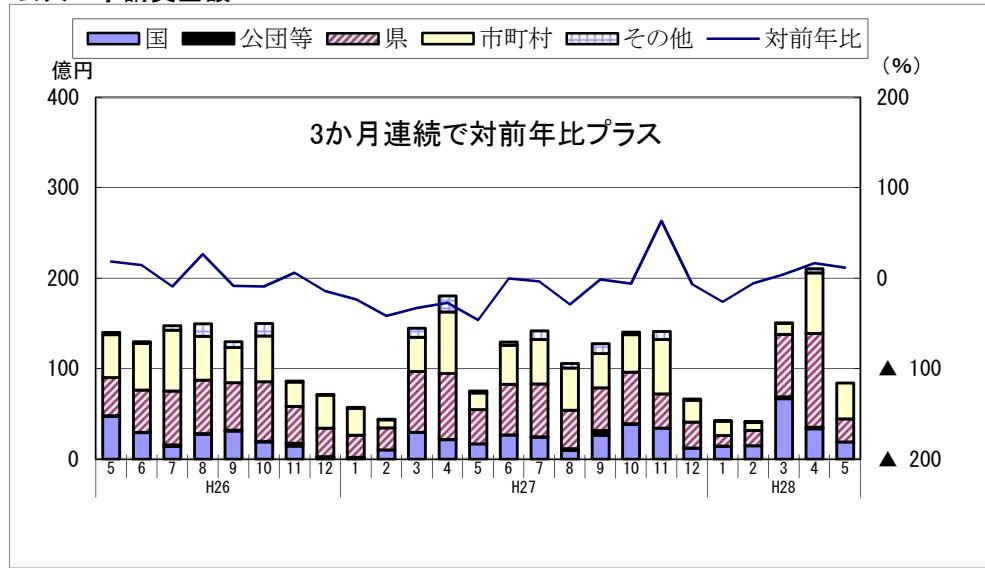
【投資動向】 ~持ち直しに弱い動き~

建築着工床面積（非居住用）



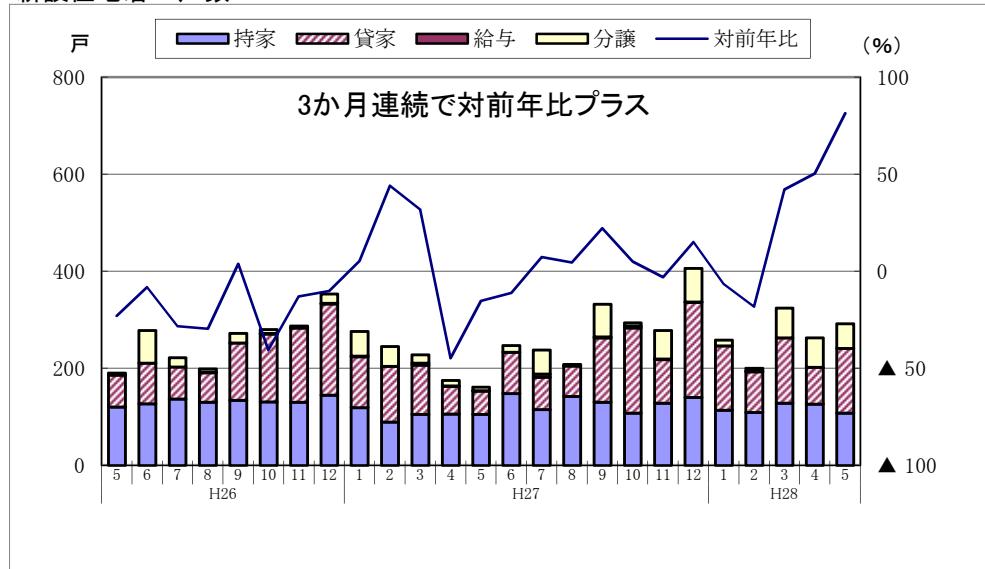
(国土交通省)

公共工事請負金額



(西日本建設業保証株)

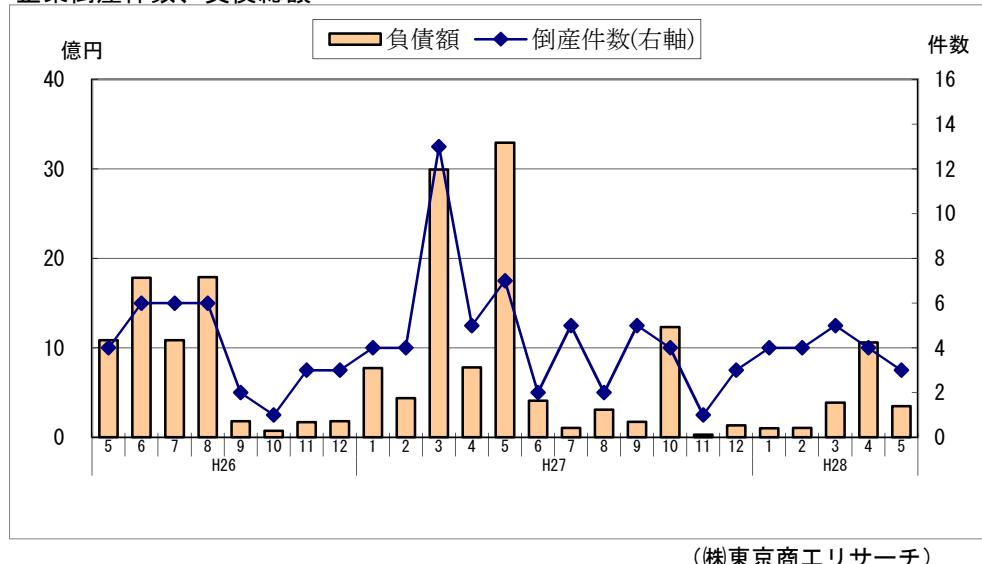
新設住宅着工戸数



(国土交通省)

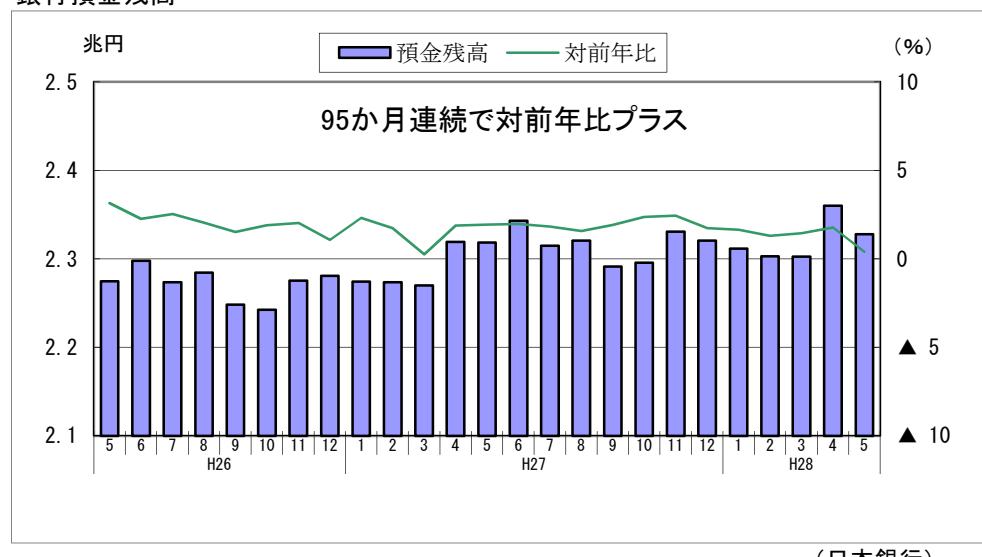
【企業倒産】 ~倒産件数3件~

企業倒産件数、負債総額

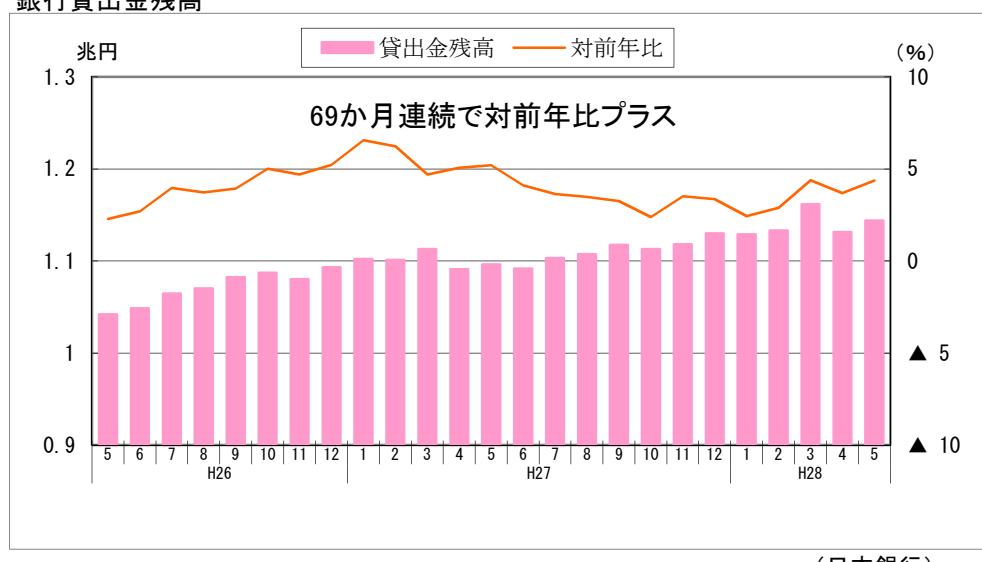


【金融情勢】 ~貸出金残高は対前年4.4%増~

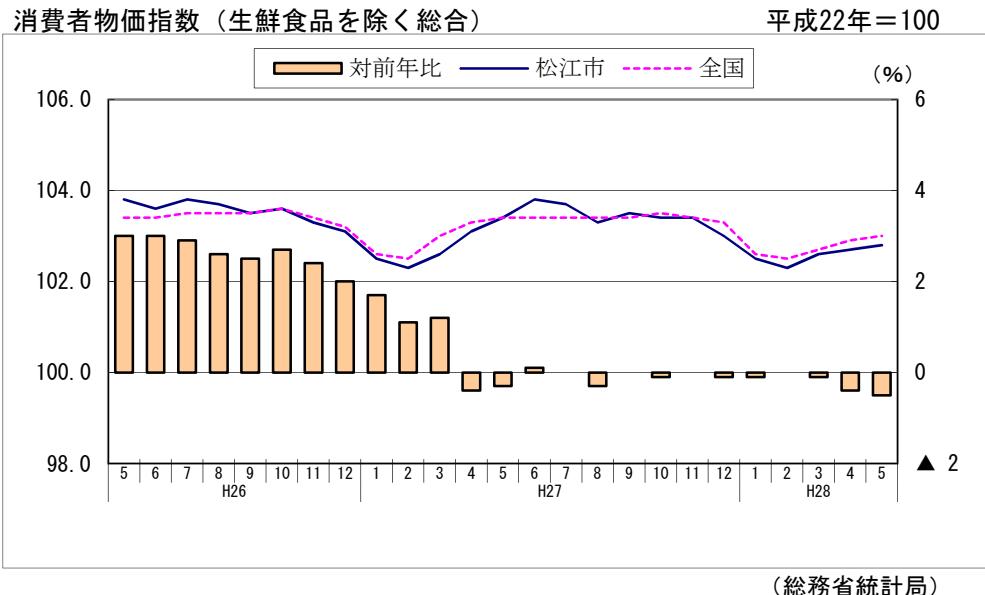
銀行預金残高



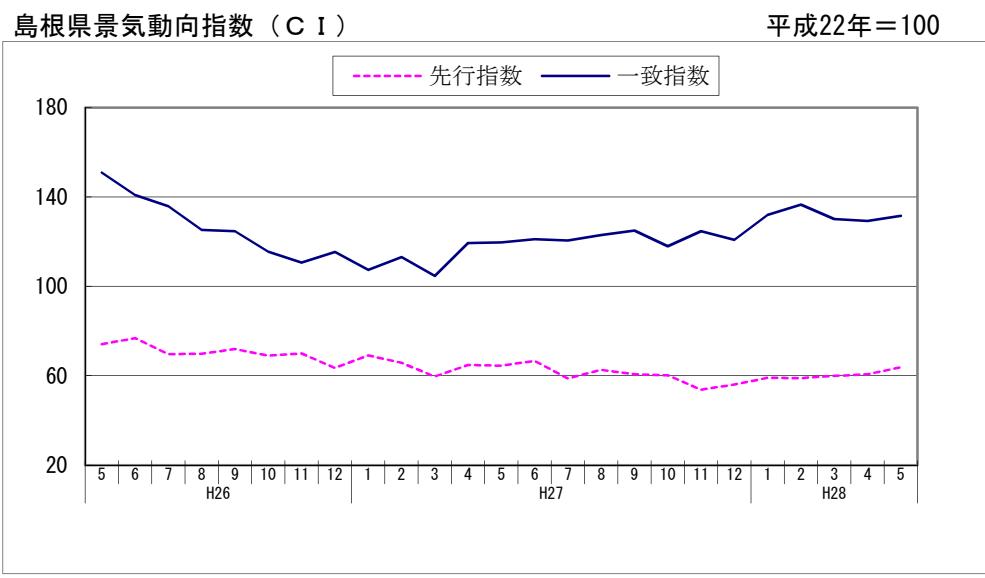
銀行貸出金残高



【物価】～対前年0.5%下落～



その他（参考）



法人企業景気予測調査結果（平成28年6月13日 財務省松江財務事務所） 平成28年4～6月期調査

景況判断B S I

(B S I : 前期比判断「上昇」 - 「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区分	28年1～3月 前回調査	28年4～6月 今回調査	28年7～9月 見通し	28年10～12月 見通し
全産業	▲ 10.7	(▲2.9) ▲ 20.2	(▲2.9)	8.3
製造業	▲ 15.4	(2.6) ▲ 27.5	(2.6)	7.5
非製造業	▲ 7.8	(▲6.3) ▲ 15.9	(▲6.3)	8.7
大企業	▲ 42.9	(14.3) 0.0	(14.3)	25.0
中堅企業	▲ 21.4	(0.0) ▲ 18.6	(▲4.8)	4.7
中小企業	1.9	(▲7.4) ▲ 24.1	(▲3.7)	8.6
				5.2

※ ()書きは、前回（28年1～3月期）調査時の見通し